

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【公開番号】特開 2017-61453 (P2017-61453A)  
 【公開日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2017-013  
 【出願番号】特願 2016-190522 (P2016-190522)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

C 0 7 K 14/64 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/24 Z N A

A 6 1 P 9/04

C 0 7 K 14/64

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 2 日 (2017.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

心不全患者を代償状態に維持するための医薬組成物であって、医薬的に活性な H 2 リラキシンを含み、前記 H 2 リラキシンは、10～960 マイクログラム / k g / 日の量で 4～96 時間の期間に代償性うっ血性心不全を有するヒト被験体へ投与される、医薬組成物。

【請求項 2】

上記投与が、心不全による死亡リスクの低下をさらにもたらず、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

上記被験体が、急性心不全のための入院を必要としない、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

上記代償不全が、呼吸困難、浮腫および疲労から選択される計画外の医療を要する症状を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

上記代償不全が、体液貯留の増加、低血圧、高血圧、不整脈、腎血流の低下、循環脳性ナトリウム利尿ペプチドの濃度上昇、循環性 N 末端プロ脳性ナトリウム利尿ペプチドの濃度上昇、血中尿素窒素の濃度上昇およびクレアチニンの濃度上昇のうちの 1 つ以上を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

上記代償不全が、静脈内利尿薬の投与を要する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

上記投与によって、低血圧、頻拍、不整脈および腎機能の悪化から選択される有害作用が起こらない、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

上記投与によって、全身血管抵抗、肺毛細管楔入圧、肺血管抵抗、血中尿素窒素、クレアチニンおよび循環N末端プロホルモン脳性ナトリウム利尿ペプチドのうちの1つ以上をさらに低下させる、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項9】

上記投与によって、心拍出量または心係数が増加する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項10】

上記被験体が、投与の開始時に、抗血小板薬、遮断薬、利尿薬および抗アンジオテンシン療法の中の1つ以上を受けている、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項11】

上記H2リラキシンの投与が、抗血小板薬、遮断薬、利尿薬または抗アンジオテンシン療法の量を中断または低下するのに治療上有効である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

上記投与が、静脈内、皮下、皮内、舌下、吸入または注入ポンプによるものである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項13】

上記H2リラキシンの、48時間投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項14】

上記投与される用量が、10～240マイクログラム/kg/日である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項15】

上記投与される用量が、30マイクログラム/kg/日である、請求項14に記載の医薬組成物。